

(平成27年6月作成)

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1403	(H.26)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業		
担当部局名	子ども部	担当室名	子ども家庭室
		室長名	田中 康生

会計区分	事業コード	190525
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	ひとり親家庭等日常生活支援事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	ひとり親家庭等日常生活支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施 策	3	子育て・子ども支援
	小 施 策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
母子家庭、父子家庭及び寡婦の方へ、一時的に支援員を派遣するなどして必要な介護、保育等を行うことによってひとり親家庭等の生活の安定を図る。
事業内容
育児、生活の援助を受けたい人と援助したい人が会員となつて必要な介護、保育等を助け合う相互援助組織であるひとり親等日常生活支援事業を実施。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画		事業費 509,000円 支援員への手当 376,000円 (生活支援 359,350円 子育て支援 16,650円) 保険料 13,000円 賃金 120,000円 事務費 84,000円 509,000円 × 15% × 1.08 =83,985円 日常生活支援の申請、支援員の派遣等について、名張市母子寡婦福祉会へ業務委託	平成27年度と同様	平成27年度と同様	平成27年度と同様

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費		592千円	592千円	592千円	592千円
内 国・県支出金		444	444	444	444
内 地方債					
内 その他()					
内 一般財源	(0)	148	148	148	148
人工数					
職員		0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
臨時職員等		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
②概算人件費	(0千円)	1,036千円	1,036千円	1,036千円	1,036千円
①+②総事業費	(0千円)	1,628千円	1,628千円	1,628千円	1,628千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成26年度までについては三重県の事業と実施していたが、県事業が廃止となったため、名張市として事業を行うことになった。	ひとり親家庭及び寡婦家庭の方が、一時的な理由によって生活援助や保育サービスが必要な場合に、支援員を派遣することによって、生活の安定を図る。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	ひとり親家庭の生活の安定を図る。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	名張市母子寡婦福祉会との連携を検討している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ばりっ子すくすく計画
ひとり親家庭及び寡婦家庭の方が、一時的な理由によって生活援助や保育サービスが必要な場合に、支援員を派遣することによって、生活の安定を図る。	